山梨県芸術文化協会情報誌

藝文やまなし

Vol.46

令和4年3月号

CONTENTS

令和３年度を振り返って

イベント紹介

芸術劇場　公演団体の声

芸術劇場　開催団体の声

芸術文化講習会 開催部門の声

賛助会員の紹介

事務局

山梨県　観光文化部

文化振興・文化財課

〒400-8501　甲府市丸の内 1-6-1

TEL　055-223-1797

FAX　055-223-1793

http://yamanashi-geibun.net

令和３年度を振り返って

山梨県芸術文化協会会長
野口 英一

木々や花が芽吹き始める様子に、穏やかな過ごしやすい季節を迎えました。

令和2年度に引き続き、令和3年度においても、新型コロナウイルスの影響が多大な1年となりました。芸術文化協会において大きな柱となる芸術劇場や指導者派遣等の事業については、令和2年度のように事業そのものを不実施とすることはなかったものの、中止の判断をせざるを得ないイベントも多かったと聞いております。そうした中においても、会員の皆様のご協力により事業を実施できたことに、感謝申し上げます。

山梨芸術劇場では、音楽、邦楽、演劇、太鼓の各部門の会員による6公演を計画しておりました。うち1公演は不実施となりましたが、舞台芸術を鑑賞、体験することで、多くの子供たちに文化芸術に親しむ機会の提供ができたと思います。

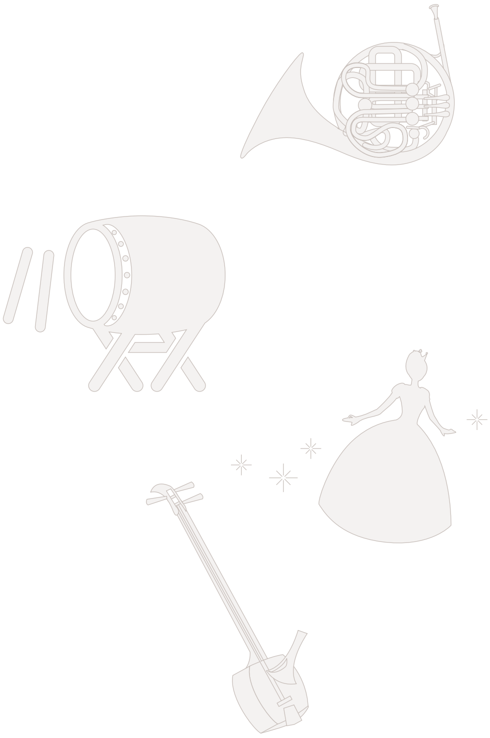
指導者派遣事業では、文学、朗読、書道、フラワーデザイン、ハンドクラフト、音楽、合唱、邦楽、民謡民舞、太鼓の各部門の会員が、派遣希望のあった小、中、高等学校等に出向き、指導していただきました。不実施となったイベントもございましたが、多くの学校において、それぞれの専門分野の会員から直接指導を受けることにより、文化芸術への興味、関心を深める機会になったと思います。

芸術文化講習会では、書道、写真、合唱の各部門の会員による講習会が計画されました。書道部門におきましては新型コロナウイルスの状況を考慮し実施することが叶いませんでしたが、写真、合唱の両部門におきましては、更なる芸術文化活動の活性化を目指し、十分な感染症対策を取った上で実施し、充実した内容の講習会により指導者の指導力向上につながったと聞いたところでございます。

新型コロナウイルスの流行が始まってから2年が経ちましたが、現在ではオミクロン株が猛威を振るうなど、その影響はいまだに継続しており、終息の目処もたっておりません。芸術文化協会における事業実施も、今後も大きな制約を受けたままの活動となってしまうでしょう。

しかし、こうした困難の中にあるからこそ、これらの事業は継続して実施していかなければなりません。文化芸術は、不要でも不急でもなく、私たちに安らぎをもたらし、和やかで潤いのある社会生活を実現するために、重要なよりどころとなるものであると確信しております。

会員の皆様におかれましては、今後とも本協会の事業に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、結びとさせていただきます。



イベント紹介

会員の活動をホームページで 紹介しています。詳しくはこちら

芸術劇場 公演団体の声

山梨交響楽団　団長　**松下 浩一**

山梨芸術劇場「富士河口湖町立大嵐小学校公演」は、紅葉祭りと重なった令和3年11月13日にポカポカ陽気で好天に恵まれた中での開催となりました。全校生徒が12名という小さな学校での芸術劇場の開催。オーケストラの魅力をどのように伝えるかをテーマにイベントの構成を考えました。そして第1部は「オーケストラってなんだろう！」、第2部は「オーケストラのなかま入りをしよう」という2部構成とすることにしました。

第1部では「となりのトトロ」を導入に、イラストを使って楽器のことをわかりやすく解説したプログラムを使って弦楽器、管楽器や打楽器の紹介をしたのち、弦楽合奏、管楽合奏を行い、最後に弦管合わせて、グリーグのペールギュントを演奏しました。15分間の休憩時間を使って子供たちに直接楽器にふれあう機会を作ったことで、楽器への興味がより沸いてきたことを感じつつ会場が和やかな雰囲気となる中、第2部を始めました。

第2部は子供たちとオーケストラのジョイント。1分間指揮者コーナーとしてブラームスのハンガリー舞曲第5番を5人の生徒の指揮で演奏したり、12名の生徒と来年度以降入学する未就学児それぞれに楽器を準備してもらい、ベートーベンのトルコ行進曲をオーケストラと一緒に演奏するなどしました。また本来であれば校歌をオーケストラ伴奏で歌って欲しかったのですが、今回は心の中で歌ってもらい、最後はラデッキー行進曲により手拍子での共演を行い盛会裏に終えることができました。

芸術振興のためには学校への訪問活動はとても大切であると思っています。私も小学生の時に近所の中学校の吹奏楽部の訪問演奏を聴いて音楽の素晴らしさを知り、演奏することに憧れ、いまはオーケストラの団員として活動をしています。山梨芸術劇場は多くの子供たちに音楽・文化の素晴らしさを伝える絶好の場であると思っています。山梨の芸術発展のために今後も続けていただくとともに、今回の公演で一人でも私たちの仲間として一緒に演奏する人がでることを望んでやみません。

芸術劇場 開催団体の声

富士河口湖町立大嵐小学校　教頭　**山田 茂之**

錦秋に染まる紅葉と雄大な富士の姿。そんな一枚の絵画のような紅葉を望める11月13日、山梨交響楽団による演奏会「秋のコンサート」を開催しました。

大嵐小学校は全校児童１２名の小規模校です。年1回「大嵐っ子まつり」という学芸的行事の日に併せてＰＴＡ親子活動を行っています。内容としては、観劇やサイエンスショー等の体験学習を企画しています。とは言うものの、なかなか本物の芸術を鑑賞する機会に恵まれているわけではありません。そこで、今回「ぜひ目の前で本物の芸術に触れさせたい、可能であれば一緒にハーモニーを奏でたい」と「山梨芸術劇場」に申請を行い、実現することができました。できる限り新型コロナウイルス感染症対策について、山梨交響楽団と何度も打ち合わせをしました。当日は、児童・保護者、そして日頃から様々な支援をしてもらっている学校関係者の約50人が集まる中、「秋のコンサート」を開催しました。

第1部は「オーケストラってなんだろう」と題し、楽器紹介を取り入れながら行いました。弦楽器、管楽器、打楽器を目の前で見せてもらい、演奏してもらい、まさしく「目と耳と心」で鑑賞することができました。第2部は「オーケストラのなかま入りをしよう」と題し、高学年児童の指揮者体験やオーケストラと一緒に全校児童が打楽器でトルコ行進曲を演奏し、音楽家になりきり体験もできました。子どもたちからは、「初めての経験だったので、わくわく、ドキドキした。楽しかった。」などの感想が多く挙げられました。これは想定内でしたが、保護者や地域の方から「生のオーケストラを初めて聴く機会をいただきとても感謝しています。生の音がこれほど胸に響いて感動するとは思っていなかったので、とても素晴らしい親子学級になりました。本当にめったにない機会なので良かったと思います。今日の音楽に触れて，音楽を志す児童がいると良いですね。」と今までの親子学級では出されなかった感想が寄せられ改めて、芸術の素晴らしさや偉大さを実感させられました。本当にありがとうございました。

芸術文化講習会 開催部門の声

山梨県芸術文化協会写真部門　部門長　**守屋 喜彦**

山梨県芸術文化協会写真部門では、今般久方ぶりに所属する写真クラブ代表者並びに会員を対象としての写真講座を開催しました。

近年写真文化の発展過程において、最も大きく変わったことは、2002年頃を境にして約200年の歴史を刻んできた銀塩フィルムカメラ時代からデジタルカメラ時代へのリプレイスです。今日ではここ20年の間に銀塩フィルムカメラでは想像もできなかったことを、デジタルカメラが成し遂げている時代です。これらは平成15年頃のハイビジョン放送開始によって映像機器のハイビジョン化の流れの一気加速、そしてそれに伴うデジタルカメラの高性能化の進展があり、当初高価なデジタルカメラも一般写真愛好家にも手の届く時代に入り、目下フィルムカメラ利用者は大幅に減少しています。私共写真部門に所属する会員の多くは、キャリア的には、銀塩写真の時代を過ごし、銀塩写真の撮影技術や作品作りにも創意工夫が行われ、また、より優れた作品作りを推進するための多種写真コンテストにも対応して来ました。

近年においては、デジタルカメラの発展の中で、身近にはスマートフォンにも撮影機能が用意され写真撮影そのものは日常茶飯事となり、写真愛好者以外の皆さんにも浸透しております。

そんな中で、写真作品を競う写真コンテストも広く普及しておりますが、写真部門としても、写真を単なる記録として撮影するだけでなく、より芸術性を高めた写真作品作りを工夫して行く必要性も感じながら、今般の写真講座を開催しました。講座のタイトルは「写真表現の楽しみ方」・・・デジタルカメラを使用してのより高度な作品作りの為の撮影の仕方や撮影した作品を更に楽しい作品に手を加えていく技術と知識を学ぶ講座でした。講師のプロジェクターから映し出された作品を見ながら、皆さん関心を高めて熱心に講座に耳を傾け、講師からどのようにして表現した作品なのか気軽に質問もしながらの講座でした。しかしながら、まだウイルス感染を留意して、参加者数に制限を設けての開催であったことが大変残念でした。

これからも、機会を見てこのような講座を適時開催して写真文化の向上を目指していきたいと考えております。

賛助会員の紹介

当協会の趣旨に賛同してくださりご協力をいただいている賛助会員の皆様です。令和3年9月1日現在

天正十年(1582年)創業。
鹿革と漆の伝統技を今に伝える甲州印伝の総本家。
www.inden-ya.co.jp
印傳屋 上原勇七

A・S・K 株式会社 吉字屋本店

有限会社 田中樂器

創業1902年(明治35年)　安心も一緒にお求めください
内藤楽器株式会社
TEL:055-243-8200　http://naito-gakki.co.jp
楽器・楽譜・防音室・ピアノ調律・楽器修理・買取・運送・ヤマハ教室

HAYANO
真心と確かな技術
株式会社 早野組
環境への想いをかたちに

甲州西島名産書道用紙・用具販売御
有限會社 表現社

額縁・洋画・デザイン・日本画材料
みくに画材店
TEL 055-252-1614 FAX 055-252-1618

山形屋琴三絃店
創業145年、最高級の技術で
和楽器の製造と修理を承ります！

(一社)山梨県労働者福祉協会

公益財団法人 やまなし産業支援機構

FUJIFILM フジカラー総合ラボ
写真は大切な宝　我が家の財産
株式会社 山梨フジカラー
http://www.yamanashi-fuji.co.jp/

山梨日日新聞社

山梨文化会館

YBS山梨放送

チラシ　パンフレット　作品集　記念誌　あらゆる印刷物に対応
株式会社ヨネヤ
〒400-0031 甲府市丸の内1-14-6　TEL 055-235-4311　FAX 055-235-4313
ヨネヤ 印刷　検索　http://www.yoneya.co.jp

連合山梨
〒400-0858甲府市相生2-7-17
TEL 055-228-0050

FSC
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C131518